

公表

## 事業所における自己評価結果(児童発達支援事業)

事業所名	米沢市立ひまわり学園		公表日		令和7年 2月 3日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<input type="radio"/>		活動内容によって2部屋に別れて活動している	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<input type="radio"/>		配置基準人数を配置している 指導員の他に言語聴覚士の専門職員が常勤している	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<input type="radio"/>		一人ひとりに合わせた視覚支援の環境を整えている。(写真、イラスト、コミック絵表示等)体を動かせる広いプレールーム、食事をする食堂、落ち着いて集中できる部屋に別れている	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<input type="radio"/>		毎日の清掃と共に感染症予防として、換気、消毒、検温、冬場の加湿の徹底と衛生管理の実施を行っている。定期的に施設・遊具の安全点検を実施している	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<input type="radio"/>		冬季は加湿器の使用を行っている。気持ちの切り替え時などで使用できる部屋数がある。必要に応じてパーテーションを使い落ち着いて過ごせる環境をつくっている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<input type="radio"/>		毎朝の事前会議と夕方の事後会議、支援会議にて職員で共有し、その後の療育に繋げられるように工夫している	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		毎年全保護者にお願ひし、提出いただいた意見について改善すべきところは見直しを行っている	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<input type="radio"/>		日々のミーティングや会議等で意見交換を行い業務改善に繋げている	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		<input type="radio"/>	県の運営指導を受け、改善に繋げている	第三者による外部評価を得ることを検討していく
10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	<input type="radio"/>		外部の研修への参加や園内研修、公開研修会、他施設での現場実習等で学び、一人ひとりの職員の資質向上に努めている		
適切な支援の	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<input type="radio"/>		1月に社会福祉協議会のHPにて公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<input type="radio"/>		相談支援事業所との連携を行い保護者、利用児の方の要望を活かした支援計画を作成している	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<input type="radio"/>		全職員で支援会議を行い、共通理解の下、支援計画を作成している。今後も最善の利益を考慮し検討していく	
	14	児童発達支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<input type="radio"/>		支援計画書は職員間で共有し、日々計画に沿ったねらいを立て、評価を行い支援に繋げている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<input type="radio"/>		遠城寺式発達検査や発達チェック表を使って行っている。毎日の事後会議等で、一人ひとりの行動や変化などについて確認し合い、記録を活かし支援している	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<input type="radio"/>		一人ひとりに合わせた課題を、領域別に明記している	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	<input type="radio"/>			

提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員間でチーフを交代しながら、変化のある楽しい療育プログラムを工夫して実施している。毎月、活動プログラムを考え、立案し内容を工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		一人ひとりの発達や状況に応じた活動を組み合わせ、実施している	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝ミーティングを行い、前回の振り返りや個別の申し送り、当日の流れ、活動、役割分担を職員間で確認し合い連携して支援を行っている	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		事後会議で、支援について振り返りを行いそれぞれが次回の療育に活かせるようにしている	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		振り返りを行う際に、記録をたどって検証、改善を行っている	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		相談支援事業所や園、就学先と連携を行っている	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		保護者の希望に基づいて、繋がりのある支援が行われるようサポートファイルの活用、申し送りを実施し相互理解を図っている	
	28	(28～30は、センターのみ回答)	○		市内の児童発達支援事業所が集まり連絡会を開催し、情報を交換し連携を図り、地域全体の質の向上を目指している	
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○			研修に参加する職員が偏りがちなので職員全員の資質向上を目指していく
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		地域主催の作品展の会議等への積極的な参加を行っている	
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		公立保育園と交流保育を行っている		
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		送迎時や連絡ノートでその日の様子を丁寧に伝えている。必要に応じて個別相談を行い、共通理解を図っている		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		ひまわりカフェや保護者の都合の良い日時を調整し、ペアレントサポートを行っている	より多くの保護者に参加して頂けるよう、更に工夫していきたい	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		入園児と年度初めに説明をしている。園舎内に掲示している		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		保護者との面談を行い、助言、支援を行っている		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		支援計画書をお渡しし、口頭で説明し、同意を得ている	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて面談を行い、助言、支援を行っている。対面の他に電話相談も行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	保護者同士 きょうだい同士 ○	親の会とタイアップした行事を開催したり、茶話会やひまわりカフェで、保護者同士の交流を支援している	きょうだい同士の交流については、行事などの参加を通して今後検討していく
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		保護者から利用日変更希望の相談があった時など、職員間で話し合い、調整を行い迅速に対応している	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		園だより、ひまわり通信、年間計画表等にて情報発信に努めている	SNS等の活用を検討していく
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報保護規定に基づき適正な取り扱いに努めている（各書類は鍵付きキャビネットに保管している）	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		おたよりの漢字にルビを振る等配慮に努めている。絵カード、数字カード、時計、文字を使って配慮している	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		地域の文化祭や市内の作品展に出席している 行事へのボランティア参加依頼も行った	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		マニュアルの整備を毎年確認し、全職員が共有して訓練をしている	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		定期的に訓練を実施している	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		入園時と変更があった時に随時確認している	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		小さい事案も記録し、職員間で話し合い、共通理解と再発防止に努めている	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		職員は、各自チェックリストに記入している。虐待防止委員会を開き、防止体制及び、職員の共通理解を努めている	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		職員間で共有し保護者には入園時に説明をしている	今後も身体拘束は行わないが、緊急時に対応が必要と判断した場合に限り、保護者同意を得て対応していく